

<平成 27 年度>

## 環境部の取り組み実績

環境総務課 淀川衛生事業所  
減量業務室 環境保全課  
穂谷川清掃工場 環境指導課  
東部清掃工場

### I 重点施策・事業

#### ◆一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の策定

ごみの減量・資源化の推進により、新たなごみ処理施設が適正な規模となるように減量目標を定めるため、平成 21 年度に策定した一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を見直し、安全で安定的なごみの収集・処理体制を引き続き確保します。

#### 実績

- ・5月に廃棄物減量等推進審議会に諮問し、1月に答申、3月に一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定した。

#### ◆新ごみ処理施設整備基本計画等の策定及びごみ処理広域化手続きの推進

昨年度策定したごみ処理施設整備基本構想を踏まえ、新たなごみ処理施設の規模、処理方法等の基本的事項を施設整備基本計画として策定します。京田辺市とのごみ処理広域化についても協議会を設置するなど事務手続きを進めます。

#### 実績

- ・可燃ごみ広域処理施設整備基本計画を3月に策定した。
- ・枚方市・京田辺市可燃ごみ広域処理に関する連絡協議会を7月に設置した。

#### ◆氷室地域等住み良い環境整備基金を活用した地域への支援の推進

近年、東部地域とりわけ氷室地域において土砂災害が多発していることを踏まえ、氷室地域等住み良い環境整備基金を活用し、災害対策活動拠点機能を備えた尊延寺区新自治会館の建設に向けた支援を進めます。

#### 実績

- ・氷室地域の災害対策活動拠点機能を備えた尊延寺区新自治会館等建設について、同基金を活用する具体的方策をまとめ、12月に尊延寺区と支援に係る協定書を締結した。

#### ◆粗大ごみインターネット受付システムのPR

粗大ごみのインターネット申込みのPRを拡充し、積極的な活用を促進するとともに、新たにインターネット予約申込み者を対象に、ごみに関する情報をメールマガジンで発信し、市民サービスの向上を図ります。

#### 実績

- ・粗大ごみのインターネット申込みについて、広報ひらかたや市ホームページに掲載するとともに、予約センターへの電話受付時にPRを行うなど、活用の促進を図った。インターネット受付件数は全受付数300,226件の内20,295件、メールマガジン配信数は1,330件であった。

#### ◆小型家電リサイクルの推進

小型家電リサイクル法に基づき、ごみの適正処理や資源の有効利用の確保を図るため、小型家電リサイクルの本格実施に向けた体制等を検討するため、市独自の試行を行います。

#### 実績

- ・試行により、約70トンの使用済小型家電の回収を行うとともに、平成28年4月からの本格実施に向けた課題を整理し、体制を整えた。

#### ◆空家等の適正管理に向けた取り組み

新たに制定された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、適正な管理が行われず、周辺住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれのある空家等に対し、関係部署と連携し、適正に対応するとともに、国の基本指針等を踏まえ、本市の実情に合わせた取り組みを行います。

##### 実績

- ・11月に法に基づく枚方市空家等対策協議会を設置するとともに、特定空家等への対策について協議会へ諮問を行い、3月の答申を受けて、本市の現状や実例を踏まえた特定空家等の判断基準等を策定した。

#### ◆空き家等の対策

周辺住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすおそれのある空き家等の対策について、国の基本指針や本市の実情等を踏まえ、今後の対応方針を定めます。

##### 実績

- ・枚方市空家等対策協議会からの答申に基づき、本市の特定空家等への対応方針等を策定した。

#### ◆地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策実行計画に基づき、市民・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省CO<sub>2</sub>活動を推進するとともに、環境にやさしいライフスタイルへの転換に向けた情報発信、啓発活動等を継続します。

##### 実績

- ・新たに建設した上下水道局管理棟に20kWの太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの導入拡大を図った。
- ・枚方市地球温暖化対策協議会と連携して、エコライフキャンペーン、ライトダウンキャンペーン、緑のカーテンなど、市民や事業者を対象とした普及・啓発活動を実施した。

#### ◆環境影響評価制度の見直し

市環境影響評価条例の制定後20年が経過する中、環境関連制度の整備や事業者による率先した環境配慮等、この間の社会状況の変化に対応するため、昨年度に実施した対象事業の規模要件の見直しに続き、対象事業や手続きの見直しを行います。

##### 実績

- ・6月に受けた答申を踏まえ、現行制度の役割や意義を継承しつつ、法・府条例との整合を図るとともに、市条例として必要な手続きと適切な対象事業を備えた制度とする見直しを行った。

#### ◆監視・指導体制の充実と権限移譲の取り組み

野焼きや不法投棄等の産業廃棄物の不適正処理は、生活環境を脅かす悪質な行為であることから、その発生を未然に防止するため、監視・指導体制の充実に努めます。

さらに、組織的・広域的な不適正処理にも迅速に対応できるよう、府や近隣の政令市等と情報交換に努めます。

また、深夜営業等の制限に係る規制やPRTR法等に関する事務について、平成28年度の権限移譲に向けた準備を進めます。

##### 実績

- ・不法投棄を未然に防止するため、監視カメラによる監視体制の充実を図った。また、大阪府及び府内中核市等で定期的開催する連絡会議に参加し、情報共有・連携強化を図った。
- ・新たな権限移譲を受けるため、大阪府の研修に参加する他、所轄警察署等関係機関との連携を強化した。また、PRTR法等に関する事務については、平成29年1月の権限移譲に向け準備を進めた。

#### ◆淀川衛生工場し尿処理施設改造事業

公共下水道普及に伴うし尿等の処理量減少への対応として、平成29年度の「希釈放流方式」への移行に向けた施設改造工事に係る実施設計を行います。さらに、業務棟の解体等の工事に

係る実施設計を行い、業務の集約に向けて取り組みます。また、引き続き、汲み取りから公共下水道への接続促進についての啓発を行います。



「淀川衛生工場」

### 実績

- ・なわて水みらいセンターへの希釈放流許可を受け、平成28年度の工事着手に向け設計委託を実施するとともに、大阪府住宅供給公社所有の淀川衛生事業所業務棟用地返還に係る覚書を締結した。
- ・各収集世帯を訪問又は文書により、下水道接続に係る啓発を年2回実施した。

## II 行政改革・業務改善

### <行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
9. アダプトプログラム等の推進	地域の美化活動をボランティアで行うアダプトプログラムについて市内6大学にPRするなど、幅広い世代への普及を進める。

### 実績

- ・市ホームページやFM ひらかたを通じて幅広い世代へのPRを行い、3団体の新規登録を行った。  
(登録団体：57団体、収集件数：398件)
- ・アダプトプログラム意見交換会を開催し、団体相互の情報交換を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	し尿等の処理量減少に伴う処理の効率化のため、希釈放流方式に変更する施

	設改造工事の実実施設計を行うとともに淀川衛生事業所の機能集約を行う。 また、処理方式を変更するまでの間、優先度を見極めた効率的な維持管理を行う。
--	---

### 実績

- ・現処理施設を生物処理方式から希釈放流方式への改造工事設計委託を実施した。
- ・大阪府住宅供給公社へ用地返還を行うため、業務棟を解体する前段に、事務所機能を管理棟へ移転した。
- ・現施設の維持管理については、希釈放流方式への移行後も使用する機器類の整備を優先するなど、効率的な維持管理を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
29. 外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議における中期的な「経営プラン」の策定に向け、協議を行い、その作成を支援する。

### 実績

- ・経営プランの策定に向けた検討や調整を行い、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議において、中期的な「経営プラン」を作成した。

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	技能労務職員等が従事する業務について、行政の役割と責任やセーフティネットの確保等の視点から整理し、それを踏まえた今後の方向性について、基本的な考え方を示す。

### 実績

- ・ごみやし尿に関する収集業務、ごみ処理・施設管理業務について、配置基準の見直しに向けた取り組みを行った。

改革課題	取り組み内容・目標
45. ごみ処理手数料の見直し	一般家庭ごみの有料化について、先進事例の調査や研究に取り組む。
<b>実績</b>	
・近隣市と2月に勉強会を開催し、一般家庭ごみの有料化等についての情報交換を行った。	

<改革・改善サイクルに係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
塵芥収集業務	自然災害発生時等において、迅速に対応し、市民への影響を最小限に抑えるためのセーフティネットを確立するとともに、より効果的かつ効率的な収集体制について検討を行う。
<b>実績</b>	
・市民サービス向上の観点から、セーフティネットにかかる委託割合について検討を行った。また、分別排出に係るさらなる市民周知啓発や収集業務における情報管理等、効果的かつ効率的な収集体制の構築に取り組んだ。	

事務事業	取り組み内容・目標
穂谷川清掃工場施設運営業務(工事)	動物焼却炉の延命化等を図るために、「①適正焼却量・運転方法のマニュアル更新」「②動物遺骸と副葬品の分別(副葬品の別焼却)の徹底」「③冷凍庫の活用による焼却量の平準化」を行う。
<b>実績</b>	
・動物遺骸と副葬品を分別し、動物焼却炉では動物遺骸のみを焼却すること及び動物遺骸を冷凍庫に一時保管し、焼却量を平準化することで焼却炉への負荷を抑えた。また、それらのことについてマニュアルに示した。	

事務事業	取り組み内容・目標
環境教育推進事業	事業者が独自に実施している環境学習会等の取り

	組みを、市が実施する環境教育プログラムに、コーディネートすることで、事業のスリム化と環境教育メニューの充実を図る。
<b>実績</b>	
・市ホームページや環境副読本「わたしたちの暮らしと環境」において、事業者が実施している環境学習会等を紹介し、環境教育の推進を図った。	

事務事業	取り組み内容・目標
枚方市規格葬儀事業	葬儀に対する市民の意識の変化を把握し、ニーズや社会状況の変化に合わせ、オプションの内容等について、適宜、見直しを行う。
<b>実績</b>	
・規格葬儀の利用者に対して満足度や利用理由等についてのアンケートを実施した。	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
行政財産(ごみ集積場)の適正管理	所管するすべてのごみ集積場の利活用状況を踏まえ、払い下げ等を含めた有効活用を行う。
<b>実績</b>	
・未利用等のごみ集積場の現地確認を行い、払い下げに向けて、隣接者と協議をするなど、検討を進めた。	

テーマ	取り組み内容・目標
市民サービスの向上	就業時間帯を見直し、午前と午後の収集エリアの均衡化を行い、収集エリアを入替するなど、市民サービスの充実を図る。
<b>実績</b>	
・収集エリアの均衡化を図るため、就業時間帯の見直しを行い、収集コースを組み替えるなど、市民サービスの充実に取り組んだ。	



テーマ	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	交通安全講習会を開催するとともに、安全運転・安全作業マニュアル研修やKYT（危険予知訓練）研修の充実を図る。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の事務連絡において、KYTに係る指差し呼称等や無事故・無違反チャレンジコンテストに参加し、職員の意識高揚を行った。</li> <li>交通事故事例や作業時における公務災害発生事例を事務連絡等にて職員へ周知し、安全運転・安全作業のため、事故の未然防止に努めた。</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
中学校の環境学習の充実	環境学習プログラムに取り組む中学校区をスマートライフ推進校区に指定し、環境学習の小中学校一貫の学習体系を進める。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートライフ推進校区に中学校5校を指定し、計2,442人に環境学習を実施した。</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
ごみ収集車へのラッピング広告	ごみ収集車の車体への有料ラッピング広告を事業者から募集し、掲載する。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ収集車4台の車体に有料のラッピング広告を掲載した。 (広告収入額：約37万円)</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
ふれあいサポート収集の拡充	家屋の粗大ごみを所定の場所まで持ち出すサービスについて、更なる対象者拡充を図る。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家屋内の大型ごみを持ち出すサービスについて、対象者拡大実施に向け検討を行い、平成28年4月から実施することとした。</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
職員提案制度への積極的な参加	職員の気づきにより、事業の効率化等の施策につながる提案ができるよう、職員提案制度に組織的に取り組む。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員提案制度へ積極的に参加し、実施を行うものとする提案として1件表彰を受けた。</li> <li>平成27年度業務改善事例として3件を推薦、11件について報告し、2件表彰を受けた。</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
知識・技術継承のための取り組み	より効率的、効果的な業務の体制づくりのため、新たな業務マニュアルの作成等に取り組むとともに、既存の業務マニュアルの最適化に努める。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに配属された職員を含めて、効率的に業務の内容を把握できるよう、既存の大気常時監視マニュアル等を見直すとともに、河川事故対応マニュアル等を新たに作成した。また、各マニュアルを活用し課内研修を行うことにより人材育成を行った。</li> </ul>

テーマ	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	災害対応マニュアルや危機管理マニュアルの改定を進め、災害対応力の向上を図る。
<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部内において災害対応訓練を実施し、大雨災害発生時等における各自に求められる行動等を検討することにより、職員の災害対応能力の向上を図った。</li> <li>地域防災計画の改訂に対応した部内危機管理マニュアルの見直しを行った。</li> </ul>

### Ⅲ 予算編成・執行

#### 【経費の削減】

- ◆溶融スラグを土木資材等に活用することにより、焼却灰等の最終処分（大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立処分）に係る経費を削減します。

#### 実績

- ・北部区画第 6 号線（招提田近 3 丁目）及び楠葉朝日第 7 号線（楠葉朝日 2 丁目）の 2 箇所の道路補修工事において、溶融スラグを舗装の原材料に活用した。

#### 【財源の確保】

- ◆ごみ焼却による熱を利用して発電した余剰電力を競争入札により売電し、財源の確保に努めます。

#### 実績

- ・ごみ焼却に伴い発電した余剰電力1万4千MWhを電気事業者に売電した。  
（電気供給収入額：2億9,528万円）

- ◆穂谷川清掃工場内に寄附金付き自動販売機を 3 台設置し、新たな財源確保を行います。

#### 実績

- ・穂谷川清掃工場内に寄附金付き自動販売機を 3 台設置した。  
（寄附収入額：約 17 万円）

#### 【財源の活用】

- ◆スマートライフ推進基金を活用し、家庭から排出される生ごみの計量を行い、見える化により減量を意識づける「計量ダイエット」のモニター事業を実施します。

#### 実績

- ・生ごみの水切り器具を利用するモニター事業を実施し、モニターの参加報告書をもとにごみの減量効果の検証を行った。  
（モニター数：29人）

- ◆大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、平成 27 年度は、1100 万円程度を見込んでいます。

#### 実績

- ・枚方ソラパの売電収入は、約 3,053 万円で、リース料を差し引いて約 948 万円の収益を得た。

- ◆市施設への太陽光発電設備のさらなる設置に向け、国・府の補助金の動向を注視し、その活用をめざします。

#### 実績

- ・平成 26 年度補正予算「独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金」を活用し、新たに建設した上下水道局管理棟に 20kW の太陽光発電システムを導入した。

### Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆環境部では、ごみの収集・処理やごみの減量・リサイクルに関する取り組みを部全体で行っていることから、定期的に部内で目標や課題等の共有化を図ることにより、効率的な組織運営を行います。

#### 実績

- ・部内会議を毎月 2 回開催することにより、部の懸案課題への対応について進捗管理を行うなど、情報共有を図り、効率的な組織運営に取り組んだ。
- ・新たなごみ処理施設の整備に向けた組織体制の検討を行った。

- ◆現場での業務経験の蓄積や継承に必要な技術・知識の向上をめざし、OJT の充実を図るとともに、適材適所の職員配置を行い、組織の機動力を最大限引き出すための組織体制を構築します。

#### 実績

- ・業務経験の蓄積や継承に必要な技術・知識の向上のため、現場において職員に指導・育成を行いながら全職員の意識高揚に努めた。

- ◆公用車の事故防止に向けて、無事故・無違反チャレンジコンテストに参加するとともに、交通安全講習会の開催や安全運転・安全作業マニュアル研修などを充実させ、職員の意識の向上を図ります。

#### 実績

- ・日々の事務連絡において、KYTに係る指差し呼称等や無事故・無違反チャレンジコンテストに参加し、職員の意識高揚を行った。
- ・収集車にバックモニター（6台）及びドライブレコーダー（6台）を搭載した。
- ・事件事例や作業時における公務災害発生事例を事務連絡等にて職員へ周知するとともに、バック誘導の徹底に取り組むなど、安全運転・安全作業のため、事故の未然防止に努めた。

- ◆部内の各課で連携することが難しい問題について、部内の職員で構成する「カイゼンプロジェクト」で検討・提案等を行うなど、組織の活性化と職員のスキルアップを図ります。

#### 実績

- ・「カイゼンプロジェクト」において提案された内容について、部内で合同会議を開催し、課題に対する解決策等の検討を行った。

- ◆定期的に部内会議を行い、組織目標の達成に向けた情報共有とスケジュール管理を行うことで、より効率的、効果的な事務執行を行います。

#### 実績

- ・毎月の部内会議において各項目の進行管理を行うとともに、目標達成に向けた部内調整を行った。

- ◆関係事務に係る各種研修会に積極的に参加し、共有化するとともに、部内横断的な取り組みを行うための勉強会等を行うことにより、職員の知識や技術等の維持・継承と業務執行能力の向上を図ります。

#### 実績

- ・各会議や研修に参加し、専門的知識について共有化を図るため勉強会や報告会を実施することで、職員の知識・技能の向上を図った。

- ◆日常業務における教育訓練にとどまらず、朝礼やミーティングの場も活用し、互いに学び合う職場風土を築くとともに、自ら考え、行動できる自律型職員の育成に努めます。

#### 実績

- ・部内施設の見学や、各自が参加した研修の報告会などの各種研修を実施し、職員の業務執行能力の向上を図った。また、各課において朝礼等の場を活用し、職務に関する情報共有を行った。

- ◆公用車の運転について、継続的な研修を実施し、事故防止とエコドライブを定着させます。

#### 実績

- ・安全運転講習やエコドライブ講習、無事故・無違反チャレンジコンテストに積極的に参加するとともに、助手席の補助誘導を中心とした交通安全実地研修を行い、運転者及び同乗者の安全運転に対する意識向上を図った。

## V 広報・情報発信

- ◆ひらかた夢工房における情報発信

ひらかた夢工房で、講習会や教室等のイベントを積極的に開催し、市民ボランティアによる活動を通じて、ごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。



「ひらかた夢工房」

## 実績

- 5月に第2回ひらかた夢工房発表会を開催するなど、市民ボランティアと連携してごみ減量やリサイクルに関する講習会等を開催した。  
(開催回数：25回(リサイクル工房発表会を含む)、来場者総数：約1,750人)

### ◆啓発キャンペーン等の実施

校区コミュニティ協議会や廃棄物減量等推進員と連携し、駅前や街頭でのスマートライフキャンペーンを実施するとともに、地域学習会や小・中学校等における環境学習の開催など、様々な活動を通じて、一人でも多くの市民に情報発信を行います。

## 実績

- 廃棄物減量等推進員との連携などにより、市内の駅や店舗前等でごみの減量に係るキャンペーンを実施した。  
(啓発活動：48回、啓発人数：11,029人)
- 小学校45校及び幼稚園等30園、中学校5校に対して、ごみの処理や減量等を学ぶ環境学習を実施した。

### ◆イベント等の開催

ごみ減量フェアやごみ減量講演会を開催するとともに、穂谷川清掃工場や東部清掃工場の施設見学を実施するなど、イベント等による啓発活動を行います。

## 実績

- 2015ごみ減量フェア(第14回)を11月に開催し、合わせてひらかた夢工房、穂谷川清掃工場の施設見学を行った。(来場者数：約4,100人、穂谷川清掃工場施設見学者数：558人)
- ごみ減量講演会を2月に開催した。(参加者：80人)
- 4月から穂谷川清掃工場の選べる見学コース(6コース)を用意し、小学校及び一般市民や企業を対象に施設見学を実施した。(施設見学者数：468人)
- 東部清掃工場で施設見学を実施した。(施設見学者数：4,240人)

- 11月にふれあいフェスタと称し、体験型工場見学会、氷室の里山写真展、地元氷室の農産物及び京田辺市による特産物の販売等のイベントを行った。(参加者数：75人)

### ◆様々な情報伝達媒体の活用

広報ひらかたや市ホームページ、ケーブルテレビ、FM ひらかたなどに加え、ツイッターなどの新たな情報伝達媒体を活用し、タイムリーな情報を適切な形で情報発信します。また、環境部制作のオリジナル啓発ソングを活用し、市民に身近でわかりやすい、ごみ減量のPRを展開します。

## 実績

- 部内に情報発信関係会議を設置し、部内で情報共有を図りながら、広報ひらかたや市ホームページ、ケーブルテレビ、FM ひらかた、メールマガジンなどを通じて情報発信を行った。
- オリジナル啓発ソングをFM ひらかたやイベント・キャンペーンで流し、ごみ減量のPRを行った。

- 大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」を活用した情報発信として、引き続き、市ホームページにおける発電状況の周知や一般見学会を開催するとともに、小学生等の見学の受け入れなどを行います。



「枚方ソラパ」



## 実績

- ・「枚方ソラパ」について、市ホームページ等で発電状況やCO<sub>2</sub>削減量などを周知した。
- ・平成27年度の年間発電量は、一般家庭約196世帯分の年間消費電力量に相当する706,773kWhとなった。
- ・市民や伊加賀小学校児童（4年生全クラス）を対象とする見学会を開催するとともに、各種団体等を対象とする見学会を合計8回開催した。（見学者数：159人）

- ◆サブリ村野の「環境情報コーナー」のさらなる充実を図るため、子どもたちが夏休みの自由研究に活用できるよう、夏休み期間における開館時間の延長の他、展示や講座をより拡充します。また、引き続き、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、省エネナビの貸し出しやエコドライブシミュレーターの活用等により、省 CO<sub>2</sub> 活動や市の環境保全活動を効果的にPR します。



「環境情報コーナー」

## 実績

- ・夏休み期間における環境情報コーナーの開館時間を17時30分まで延長するとともに、土日祝も開館したほか、水槽の設置などひらかたの自然コーナーを拡充した。
- ・環境ミニ講座を開催（8回、参加者数：106人）するとともに、エコドライブシミュレーター（利用者数：457人）を引き続き運用する他、省エネナビの貸し出しを行った。

- ◆市内事業者115社が会員となっている地球温暖化対策協議会の会員事業者とともに、セミナーやイベントを開催し、地球温暖化対策を推進します。

## 実績

- ・地球温暖化対策協議会において、温暖化対策への協力や、省エネセミナーや打ち水イベントなど、延べ751事業者の参加による啓発を行った。
- ・くずはモールのグランドアトリウムで温暖化対策協議会主催の省エネイベント「環境広場」を実施し、燃料電池自動車の展示、省エネ関連ブースの設置や協議会会員の活動の紹介を行った。（参加者数：846人）

- ◆自然観察会や講演会等の市民参加型のイベントや「ひらかたクリーンリバー」、「ひらかたキャンドルの夕べ」などの市民等と連携によるイベントを通して、環境保全の効果的な啓発を行います。

## 実績

- ・自然観察会として、「水辺の楽校（がっこう）」（参加者数：30人）、「セミの抜け殻調査と自然工作」（参加者数：37人）、「葉っぱの観察と工作」（参加者数：19人）、「夏の山田池公園昆虫教室」（参加者数：30人）、「葉っぱや木の実でナチュラルアート」（参加者数：28人）を実施するとともに、自然保護をテーマに講演会（参加者数：46人）を開催した。
- ・「クリーンリバー船橋川」（参加者数：250人）、「天の川クリーン&ウォーク」（参加者数：747人）など、市民等のボランティアによる清掃活動を通じて、河川の環境保全意識の向上を図った。
- ・「ひらかたキャンドルの夕べ2015」を100人のボランティアと連携し開催した。